

平成 24 年 5 月 15 日

各 位


 会社名 株式会社アイレックス
 代表者 代表取締役社長 久次米 正明
 (JASDAQ・コード 6944)
 問合せ先
 取締役管理部長 中野 浩樹
 TEL 03 (3245) 2011

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 13 日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,000	330	330	244	8.30
今回修正 (B)	3,559	327	335	248	8.45
増減額 (B－A)	△441	△3	5	4	
増減率	△11.0	△0.9	1.5	1.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 3 月期)	3,644	302	309	24	0.85

(2) 修正理由

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨年 3 月に発生しました東日本大震災の影響により、電力供給の制約や原子力災害等によりサプライチェーンの立て直しが遅れる等、非常に厳しい状況のまま推移いたしました。また、アジア景気の拡大テンポの鈍化や、欧州の政府債務危機の金融面への影響懸念、更にタイの洪水の発生や、昨秋以降の超円高の進行による産業の空洞化等により輸出企業の収益は大幅に圧迫され、31年ぶりに貿易赤字となりました。

当連結会計年度における当社グループは、全社をあげて既存顧客への一層の営業活動と新規の顧客開拓により受注の確保と稼働率の改善に取り組んでまいりました。また、前連結会計年度から取り組んでおります 3 大改革 (企業価値向上、事業構造改革、業務改革) に引き続き注力いたしました結果、内製化による外注費の削減や固定費の削減効果が顕著に現れ、利益面では上記の表の通りほぼ当初予想通りとなる見込みであります。売上面では、情報サービス業界におきましては第 3 四半期から一部に持ち直しの動きが見え始めたものの、景気回復が足踏み状態にあることを反映して依然として厳しい状況にあり、上記の表の通り当初予想を下回る見込みであります。

2. 平成 24 年 3 月期 個別業績予想の修正等

(1) 通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想（A）	百万円 2, 6 0 0	百万円 1 7 5	百万円 1 6 5	円 銭 5. 6 1
今回修正（B）	2, 3 1 1	1 9 1	1 7 3	5. 9 1
増減額（B－A）	△ 2 8 9	1 6	8	
増 減 率	△ 1 1. 1	9. 1	4. 8	
（ご参考）前期実績 （平成 23 年 3 月期）	2, 5 0 4	1 6 4	△ 5 9	△ 2. 0 3

(2) 修正理由

当事業年度における個別につきましては、連結と同様に売上面では当初予想を下回る厳しい状況となりましたが、事業構造改革における新規受注獲得や選択受注・内製化の強化による外注費の削減、及び業務改革における固定費・販管費の削減が特に奏功し、利益面では当初予想を上回り上記の表の通りとなる見込みであります。

以 上

※本資料に記載されている業績見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等様々な要因により大きく異なる可能性があります。